

令和4年度(第18回)  
春の全国中学生ハンドボール選手権大会

男子 準決勝

令和5年3月29日(水)

於:氷見市ふれあいスポーツセンター

A 大体大浪商(大阪)

対

B 岩国(山口)

24	12	前半	8	16
	12	後半	8	

岩国のスローオフでゲームスタート。大体大浪商15番湯地のディスタンスシュートで先制、その後3番亀井カットインと4番楠原ミドルシュートで3対0とリードする。その後岩国は2番岩根のカットインでようやく初得点をあげ3対1とする。その後両チーム一進一退の得点を重ね、19分過ぎ9対7となったところで大体大浪商がタイムアウトを取る。タイムアウト明けに大体大浪商の3番亀井の連続得点で点差を4点差とし引き離しにかかる。一方岩国は打開を図り7人攻撃を仕掛けるもうまくいかず、たまたまタイムアウトを取る。その後両チーム得点を取り合い、12対8と4点差のまま前半終了。

後半は、大体大浪商7番川崎の7メートルスローの得点で始まる。岩国はその際退場となり、エンペティゴールで6人攻撃を仕掛けるも、大体大浪商のDFを攻めきれず、その後も岩国は退場を重ね徐々に点差が広がり、15分過ぎには22対12と10点差となる。終盤は一進一退の展開となり、岩国は1番ゴールキーパー鮎川や2番岩根が点差を詰めようと奮闘したが24対16で大体大浪商が昨年3位の雪辱を晴らし、決勝へと駒を進めた。

記入者氏名

山本 幹雄